

感染症かわら版

～感染性胃腸炎(ノロウイルス等)の集団感染にご注意ください!～

第1号

管内でもノロウイルスによる集団感染が複数発生しています。

■ 感染性胃腸炎とは

感染性胃腸炎とは、主にウイルスなどの病原微生物を原因とする胃腸炎の総称です。原因となるウイルスには「ノロウイルス」「サポウイルス」「ロタウイルス」などがあります。

感染力が非常に強く少ないウイルス量で感染します。
保育園・学校・高齢者施設などで大規模な集団感染が発生することがあります。主な症状は、吐き気、腹痛、おう吐、下痢、発熱です。



ノロウイルスの電子顕微鏡像(埼玉県衛生研究所篠原先生撮影): 国立感染症研究所HPより

■ 原因及び感染経路について

感染性胃腸炎の原因として多く見られるのはノロウイルスです。ノロウイルスの蓄積した二枚貝を、生または加熱不十分なまま食べて感染するほか、ノロウイルスに感染した調理従事者の手を介して、汚染された食品から感染することがあります。ノロウイルスは耐性が強く、条件によっては、長期間存在します。また、ノロウイルス感染者のおう吐物や便から人の手などを介しての二次感染による感染も発生しています。

■ 予防方法は

- ★ こまめに手洗いをしましょう。
特に排便後、調理や食事の前、おむつ交換をした後は、その都度、石けんと流水で十分に手洗いをしましょう。

参考: 東北大学病院オリジナルてあらいうた おててテトテト

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/release/news/2172.html>

- ★ おう吐物や便を処理するときは、使い捨ての手袋、マスク、エプロン等を着用し、次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤など)で処理しましょう。施設においては、処理用具を一つにまとめておくとよいでしょう。処理後は、石けんと流水で十分に手洗いしてください。
- ★ ノロウイルスに汚染された二枚貝による食中毒を防ぐには、中心部まで十分に加熱しましょう。(中心温度85～90℃で90秒以上の加熱が必要です。)

- 大崎保健所管内の感染症情報をお知りになりたい場合は、

北部保健福祉事務所(大崎保健所)

検索